

民医連 公益財団法人 宮城厚生協会

長町病院 だより

2020・9
No. 90

発行責任者 ◆ 水尻 強志

〒982-0011

宮城県仙台市太白区長町3丁目7番26号

TEL 022-746-5161 代 FAX 022-746-5114

<http://www.m-kousei.com/nagamati/>



仙台市立病院と 「地域包括ケア医療連携に関する協定」を 締結

事務長 日比野 恵子

7月3日に仙台市立病院と「地域包括ケア医療連携に関する協定」を結びました。これは、相互がもっている医療機能をより発揮し、また、緊密な医療連携を図ることにより、患者様が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、適切で質の高い医療を提供することを目的としたものです。これまでも仙台市立病院とは連携を図ってきましたが今後さらに充実させてまいりたいと思います。

新型コロナウイルス対策 体温検知カメラ導入



長町病院では、新型コロナウイルス感染防止対策として「体温検知カメラ」を設置しました。これにより、今までよりも素早く正確に検温できるようになりました。また、マスク着用の有無も判別でき、着用を促す音声アナウンスが流れます。

新型コロナウイルス感染症対策における「体温の確認」は重要です。患者さんを始め付き添いの方も、来院時は体温検知カメラにて検温のご協力をお願い致します。



2020.7.16 総合機能評価加算 全体学習会報告

リハビリ室 中塩 加久子

7月16日に下地直紀医師を講師に、総合機能評価についての学習会を行いました。

総合機能評価加算を算定するために、病院として職員学習が要件ですが、学習会後の評価では「総合機能評価が活きるためにも、講義内容の知識の取得など、スタッフ間の勉強が大切」「とてもわかりやすく学びが深まりました。職場で活用します」など、今後の日常診療に活かしていきたいといった前向きな感想がとても多く、やる気を盛り立ててもらえる学習会となりました。

内容は、高齢者に多い疾患についてや病態が急変した際の対応などでしたが、下地先生が理想と考え要望する「コンサルト（相談する）基準」についてわかりやすく説明いただきました。「急変した際にただ伝えるのではなく、どうしてほしいのかなど、詳しく伝えることが大切と学びました」「内容を踏まえて、医師・他職種へのコンサルトをはかれればより安全な情報伝達が出来ると思いました」など、参加者はイメージできた様子でした。今後の診療に活かしていければと思います。



2020.8.20 全日本方針・青年アンケート 全体学習会報告

診療サービス課 引地 顕三

8月20日に県連事務局次長の佐藤望さんを講師にむかえ、宮城民医連定期総会の学習会を行いました。

今、コロナウイルスという未知の病原体の感染拡大に伴い、医療機関、介護事業所の経営はかつてない程厳しいものとなっています。さらに、多くの人々が職を失ったり、収入が減少する等、健康で文化的な生活を営むことが出来なくなっており、その拡大に歯止めがかからない状況でもあります。

そんな今だからこそ、私たち民医連の職員にできることがあるのではないのでしょうか。病院経営を守る一方で、入職してからずっと学んできた日本国憲法の礎でもある人権保障、個人の尊

厳を守る取り組みを具現化することにより、多くの方々の力になれる可能性があることを感じられた学習会でした。

そしてその精神を、今後民医連の中心を担っていく若い職員の皆さんに引き継いでいきたいと決意できた学習時間であったと思います。





消防訓練

副事務長 阿部 一彦
(防火管理者)

消防訓練は法定で年2回の実施が義務付けられており、7月9日の午後、30名余りの職員が参加し、今年度第1回目の消防訓練が実施されました。

想定・目的は深夜帯に4階病棟からの出火「防火管理・消防計画」に基づいて、通報・初期消火・避難誘導を行ない「総合訓練」の基本的理解を深め、少人数の状況下での行動について認識する機会とすることを目的に行われました。

今回は4階病棟410号室からの出火を想定しての訓練でした。13時40分に訓練参加者は4階デイルームへ集合し、担架の使用方法や訓練内容を確認してからそれぞれ担当配置につき、14時に訓練スタート、4階病棟の煙感知器が作動し、防災室より「4階で火災のベルが鳴りました。確認のため次の放送をお待ちください。」の放送を受けました。

4階病棟では、勤務中の看護スタッフが、防災版にて火元を確認後に1階防災室と通話。職場指揮者が指示し、消火器での初期消火、火事ぶれ、救助に駆けつけた職員により、模擬患者（職員）を搬送し内階段・外階段から3階待合室まで避難誘導しました。

訓練終了後に、2階庭園にて水消火器を使用し「消火器操作訓練」を行ない、消火器の使用方法を学びました。

本日の訓練で出された反省を活かしつつ、一人一人が危機意識を持って、次回の11月の訓練に臨みたいと思います。参加の皆様、お疲れ様でした。



院内社会保障・反核平和委員会の紹介

長町病院社会保障・反核平和委員会 事務局 園田 道代

民医連に加盟している長町病院には、一般病院には無い「社会保障・反核平和委員会」があります。民医連綱領にある「一切の戦争政策に反対する」「安心して生活できる社会保障の実現」という項目について、考え活動する委員会です。今回のお便りで、委員会の7・8月の活動について、報告させていただく事となりました。

委員会の構成ですが、各職場から選出された委員21人、新入からベテラン職員とバランスが最高です。月1回、1時間の会議時間をとるのが精一杯で、工夫しながら努力しています。

7・8月は、戦争や平和について考え活動する月としました。戦争から75年が経過し、みんなが戦争を知らない世代、戦争NOの気持ちをどう高めていくのか、1にも2にも「戦争」について学び意識を高めていくしかありません。以下が取り組みの内容です。

- ①7月の委員会で、宮城県平和委員会から講師を招いて「核兵器廃絶、戦争と民医連」をテーマに学習会実施
- ②8月の委員会で、1人1人が戦争について学んだ事を発表し、共有
- ③平和七夕用の折り鶴を、職員・友の会の皆さんに折ってもらい、8/6ヒロシマの日に、玄関前に飾りつけ
- ④昼時間に、カフェ JHOJHO前で「ヒバクシャ署名」核兵器廃絶への賛同の訴え
今後、戦争時代の体験を持つ友の会の方々から「戦争」について話を伺いながら学びを深めていきたいと思っています。
コロナ禍となり、社会へのアンテナをピンと高め、学びながら活動する中で、民医連職員としての日々を充実させていけたらと思っています。

回復期リハビリテーション病棟(回リハ病棟)紹介

南3階病棟 看護師長 相澤 夕子

長町病院は内科を中心とした一般病棟45床(1病棟)と、回復期リハビリテーション病棟90床(2病棟)を持つ小規模病院です。回リハ病棟とは、病気や事故などにより身体機能が低下した患者さんに対して集中的にリハビリを行い、機能回復と家庭や社会復帰への支援を行う病棟です。

当院の回リハ病棟への入院は、100%急性期病院からの紹介です。近隣の急性期病院の他、福島など遠方の病院からの紹介もあります。紹介があったら、なるべくお待たせする事のないよう地域連携室を中心に入院の調整をしています。

疾患としては脳卒中や骨折の患者さんが多く、担当の理学療法士、作業療法士、

言語聴覚療法士が医師の指示の下、1人1人に合わせたプログラムを組んでリハビリを行っています。トイレ動作や家事動作など退院後の生活を想定した訓練や、「卓球がしたい」「畑仕事がしたい」といった趣味や生活を豊かにするための訓練も大切にしています。

また、カンファレンスや回診、退院調整会議など、患者さんの課題や目標・支援を確認する機会を多く設けており、多職種での話し合いが行われています。医師、看護師、介護福祉士、リハスタッフ、医療相談員、栄養士、薬剤師など多職種が連携し、患者さんの抱える問題を解決する「チーム医療」を大切にしています。

2020年9月 長町病院診療体制



科名		月	火	水	木	金	土
内 科	午前	土門 下敷	水戸部 千葉(明) 佐藤(行) 伊藤	井田 武田 佐藤(行)	千葉(明) 水戸部 佐藤(行) 伊藤	遠藤 神沼 片倉	本田(呼吸器) 5・19 戸井(呼吸器) 12・26 及川 5・12 平野井 休診 他、内科医交代で担当
	午後	及川 加藤 神沼	水戸部 伊藤	井田 武田 佐藤(行) 伊藤	—	伊藤	—
	夜間	—	—	—	佐藤(行) 千葉(明) 3・17 片倉 10・24	—	—
現代謝科	午前	及川	土門	土門	木嶋 (東北大学病院より)	佐々木 (東北大学病院より)	土門 12・26
	午後	—	—	土門	—	—	—
	夜間	—	—	—	土門	—	—
リハビリテーション科	午前	{9時台のみ} 全成	—	—	—	—	—
	午後	—	京	全成 ※千葉(茂) 9のみ	—	千葉(茂)	—
小児科	午前	村長	村長	村長	村長	村長	村長 5・19
	午後	村長	村長	村長	—	村長	—

※診療体制については、変更する場合もございます。